



# やしろ

令和8年4月8日

幸手市立八代小学校

幸手市平須賀1-14



## 感謝とチャレンジを合言葉に…



校長 坂庭 正 浩

校庭の桜の木々に花びらと新芽が入り混じる中、令和8年度の新学期が始まりました。保護者の皆様、お子様の入学並びに進級、誠にありがとうございます。今年度は4名の1年生を迎え、全校児童43名となります。昨年度に引き続き、学校の教育目標を「自ら進んで学ぶ子」「心豊かで思いやりのある子」「ねばり強く健康な子」とし、目指す学校像を「地域に信頼され、笑顔・活気・自信・誇りがあふれる学校」としました。これまで築き上げてきた本校の伝統を継続し、最後の1年も「真剣・集中」「チーム八代小」で取り組んでまいります。

さて、始業式の時にラスト1年の八代小をどのように過ごしてもらいたいのか、子ども達に次のように伝えました。

八代小は令和8年度で閉校となります。八代小で過ごす最後の1年になります。そこで皆さんに心にいつもとめておいてほしいことが2つあります。1つめは、感謝の心を大事にしてほしいことです。何に感謝するかというと「八代小」です。皆さんは八代小に入学して立派に成長しています。これは自分だけの努力ではありません。先生やおうちの人、地域の方の支えはもちろん、みんなで学ぶ環境であるこの八代小があったからと考えます。この1年で閉校する八代小に「ありがとう」という感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。2つめは、チャレンジすることです。皆さんは1年後に新しい学校で権現堂川小と吉田小のお友達と一緒に勉強をします。3つの学校のお友達が仲よく高め合いながら勉強していくには、色々なことにチャレンジするやる気が大切です。そのことをこの最後の1年で身につけていきましょう。そうすれば自分に自信がつきます。八代小で学んだことを生かして、前向きにチャレンジすることで自分を高めていきましょう。

今年度は例年と比べ、特別な思いのある1年となります。子供たちにも職員にもその思いを伝えました。保護者や地域の皆様におかれましては、今年度も何かとご協力をいただくことがあるかと思えます。八代小最後の1年を学校と家庭地域が共に手を取り合い、「八代小で学べてよかった、学ばせてよかった」と心に残る教育活動を教職員一同全力で取り組みます。今年度もご理解とご協力をお願い申し上げます。



昨年度実施した「全校徒歩遠足」